

住宅対策

若者定住住宅 家賃が高い

低価格となるよう検討



藤本 岩義 議員

問 人口減の対策を取組んでいるなか、拳ノ川小学校は16名、伊与喜小学校は15名と完全複式の学校となっている。児童等の増加には住宅対策が重要ではないか。

また、若者定住住宅（拳ノ川特定優良賃貸住宅）は、若者が住むことによって児童数確保の特定目的を持って建設されているが、現在4棟中3棟が空き家だ。家賃も4万円と高いので低価格にして、目的を果たすべきではないか。

答 森田建設課長

移住促進と子育て世帯を中心とした定住人口の増によるコミュニティの活性化、地域振興を目的として、定住促進住宅の設置を進めている。

若者定住住宅は、募集もしているが3棟が空き家となっている。今後、家賃の見直しも含め、若者住宅のあり方等の整理・検討を早急に進める。

答 坂本教育長

現状、年間20名ほどの児童減少だ、児童増加のためには若者の住宅は重要と考える。

防災対策

職員の
普通救命講習は
各講習の
順位をつけ検討

問 AED（自動体外式除細

動器）は現在何台配置されているか。パットや電池の交換などはしているか。町以外の団体が設置しているAEDを調査し、協力して頂けるのであれば公表し、配置のバランスをとれないか。

また新設の考えはないか。

答 徳廣情報防災課長

黒潮町の管理するAEDは現在41台で県4台、消防署1台ある。パットや電池は交換時期に計画的に交換している。

今後、事業者への調査を行い可能な範囲で了承が得られればマップ等に図示し、ホームページでお知らせする。

現在、新設の計画はない。

問 AEDは、大方球場や児童館など子どもたちの集まる所にも必要ではないか。新庁舎移転に合わせ自動販売機にセットされたものを設置し、余る機器で対応できないか。

答 宮川総務課長

自販機業者と協議検討する。

問 普通救命講習を受けている職員は何名いるか。以前には計画的に3時間の受講することになっていた。更新も含めイベント等にも多く参加する職員への講習は重要と思うが講習の継続はできないか。

答 徳廣情報防災課長

現在把握している受講修了者は101名いる。救命技能の維持向上や心肺蘇生法の更

新があるため、定期更新講習が必要と記されているが必須でないため、計画的実施になっていない。

答 大西町長

さまざまな講習があり、それらの全体を整理し、その講習を誰が受けるべきなのか、優先順位を判断して順位が高ければ、その施策を講じた



入居者募集中の若者定住住宅（拳ノ川）